熊野古道 風伝峠

風伝峠はこの地域の歴史的にも重要な峠道でした。
紀和と御浜との町境に位置し、
その名前の由来は風頼の当て字で、
風のよく通る峠を意味しています。

F
朝霧(さぎり)「風伝おろし」で有名な、御浜町尾呂志(おろし)地区の、山里の風景がご覧になれます。
10月～5月頃の雨の後、翌日が晴れになる時に多く見られます(午前7時～午前8時頃の間)。
晩秋から冬にかけてが一番きれいに見られると言われ、月夜には夜霧が幻想的に見える時もあるそうですよ。

所要時間(目安)

さぎり里
↓約15分
風伝峠登り口
↓約20分
風伝茶屋
↓約20分
風伝峠津り口